

「IT導入補助金2022」の概要について

令和4年11月29日

四国経済産業局

地域経済部 製造産業・情報政策課

- 1. IT導入補助金2022の概要**
- 2. 活用事例**
- 3. 採択状況・公募スケジュール**
- 4. 参考・お問合せ先**

1. IT導入補助金2022の概要

2. 活用事例

3. 採択状況・公募スケジュール

4. 参考・お問合せ先

1. IT導入補助金2022の概要

- **IT導入補助金は、中小企業等の生産性向上を実現**するため、業務効率化や自動化を行う**ITツール**（ソフトウェア、アプリ、サービス等）の導入を支援する補助金

■ 補助事業者（申請の対象となる事業者）

中小企業・小規模事業者等（飲食、宿泊、小売・卸、運輸、医療、介護、保育等のサービス業の他、製造業や建設業も対象）

<中小企業の定義>

業種分類	資本金	従業員	
	資本の額又は出資の総額	常勤	
右記以下の場合対象（個人事業を含む） 資本金・従業員規模の一方が、	製造業、建設業、運輸業	3億円	300人
	卸売業	1億円	100人
	サービス業（※1）	5千万円	100人
	小売業	5千万円	50人
	ゴム製品製造業（※2）	3億円	900人
	ソフトウェア業又は情報処理サービス業	3億円	300人
	旅館業	5千万円	200人
	その他の業種	3億円	300人

<小規模事業者の定義>

業種分類	従業員
	常勤
商業・サービス業 （宿泊業・娯楽業除く）	5人以下
サービス業のうち 宿泊業・娯楽業	20人以下
製造業その他	20人以下

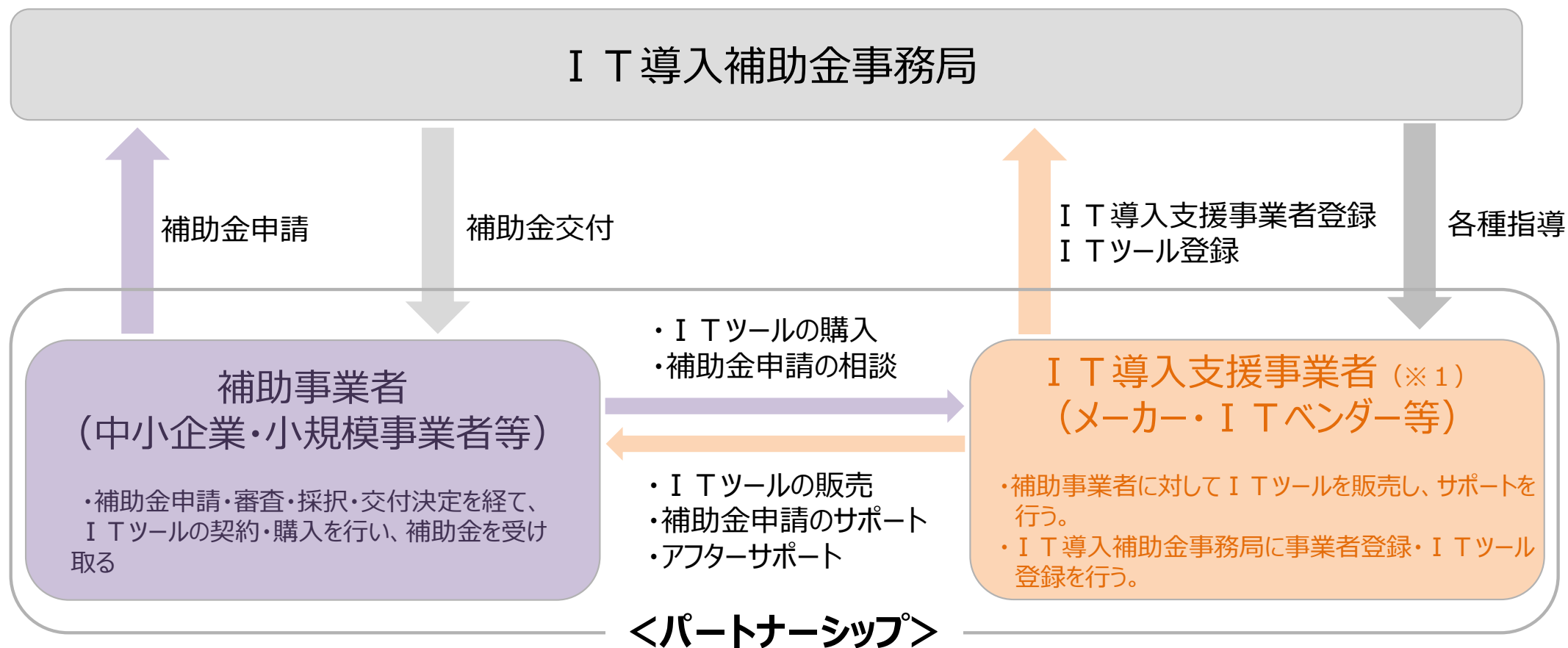
※1 ソフトウェア業又は情報処理サービス業、旅館業を除く。

※2 自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く。

1. I T 導入補助金2022の概要（申請の流れ）

- 補助事業者（中小企業・小規模事業者等）は I T 導入補助金事務局に登録された「I T 導入支援事業者」とパートナーシップを組んで申請することが必要です。

■ 補助金スキーム



(※1) 補助事業者と共に事業を実施するパートナーとして、補助事業者に I T ツールの説明、導入、運用方法の相談等や補助金の交付申請や実績報告書等の事務局に提出する各種申請・手続きのサポートを実施。

1. IT導入補助金2022の概要

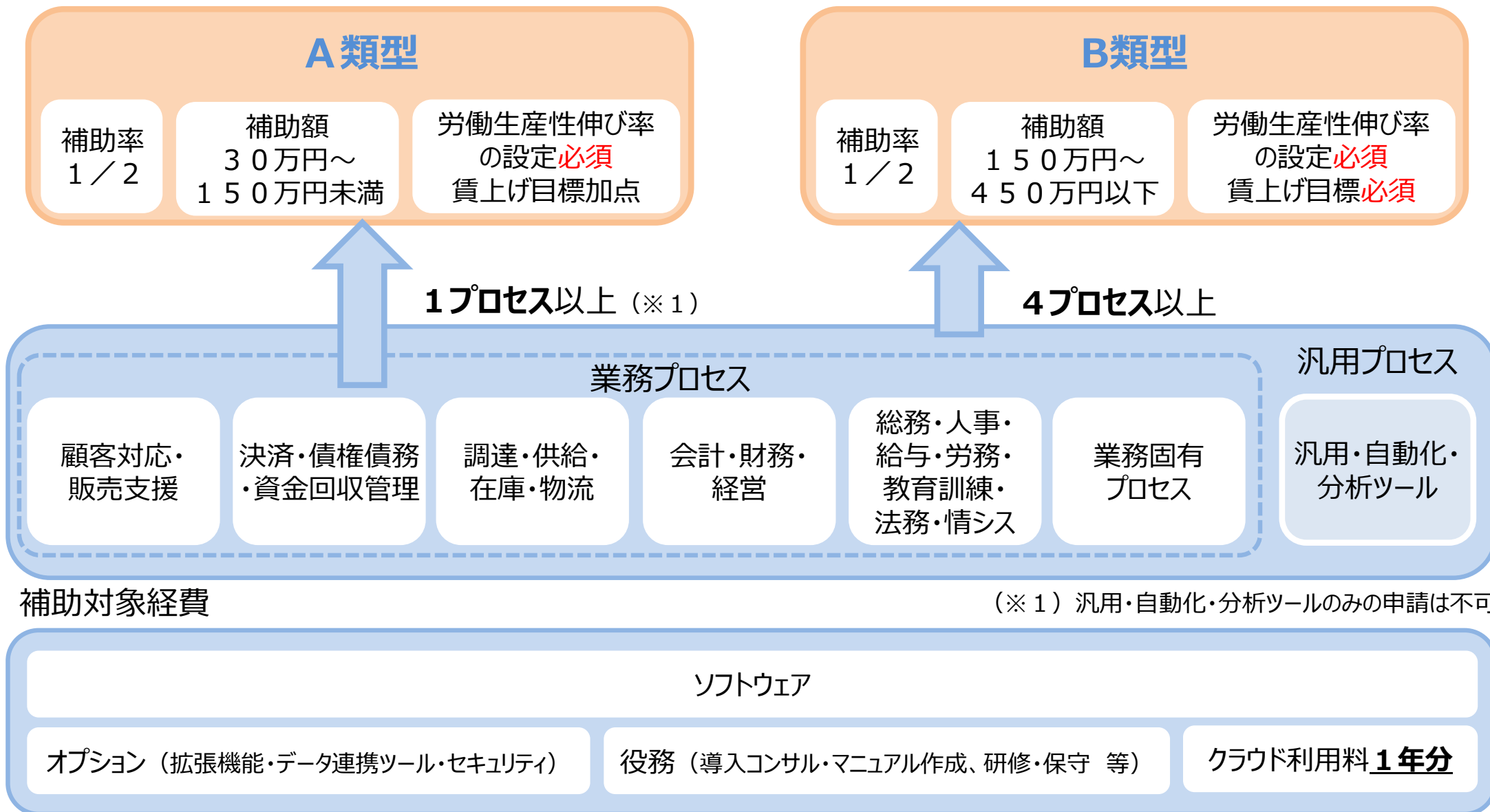
- 「通常枠」、「デジタル化基盤導入枠」、「セキュリティ対策推進枠」の3枠を同時申請することも可能。

枠・類型名	通常枠		デジタル化基盤導入枠 (※)		セキュリティ対策推進枠
	A類型	B類型	デジタル化基盤導入類型		
補助額	30万円～ 150万円未満	150万円～ 450万円以下	5万円～ 50万円以下	50万円超～ 350万円	5万円～100万円
補助率	1/2以内		3/4以内	2/3以内	1/2以内
機能要件・ プロセス数	1プロセス以上	4プロセス以上	1機能以上	2機能以上	(独)情報処理推進機構が公表する「 サー バーセキュリティお助け隊サービスリスト 」 に掲載されているいずれかのサービス
補助対象ツール	労働生産性の向上に資するITツール		会計・受発注・決済・ECの各ソフト		
補助対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料 (最大1年分)、導入関連費		ソフトウェア購入費、 クラウド利用料(最大2年分)、 導入関連費、ハードウェア購入費		サービス利用料 (最大2年分)
労働生産性の 伸び率の設定	○ 1年後…3%以上、3年後…9%以上 及びこれらと同等以上、の数値目標を作成		×		○ 1年後…3%以上及びこれらと 同等以上の、数値目標を作成
賃上げ目標	加点	必須	加点		加点

(※) デジタル化基盤導入枠には**複数の事業者が共同で申請する「複数者連携IT導入類型」**もあります。

1. IT導入補助金2022の概要【通常枠（A・B類型）】

- 業務効率化やDXに向けて行うITツールの導入を支援。



1. I T 導入補助金2022の概要 【デジタル化基盤導入枠】

- 2023年10月から始まるインボイス制度の対応を見据え、企業間取引のデジタル化を強力に推進。

デジタル化基盤導入類型

補助額

5万円～50万円以下
50万円超～350万円

補助率

3/4 (5万円～50万円以下)
2/3 (50万円超～350万円)

労働生産性伸び率
の設定**加点**



パソコン・タブレット等 ～10万円 / レジ・券売機等 ～20万円 いずれも補助率1/2

補助対象の I T ツール

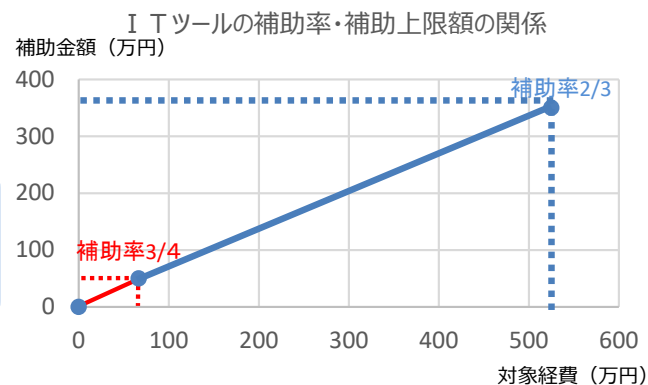
(※) 下記4ツールのうち、1ツール導入の場合は上限50万円、
2ツール以上の場合には上限350万円

会計ソフト

受発注ソフト

決済ソフト

E C ソフト



(例) 補助対象経費100万円の場合

- ①補助額5万円～50万円以下部分
補助額500,000円の補助率は3/4のため補助対象経費は666,667円となります。
- ②補助額50万円超～350万円部分
残りの補助対象経費333,333円は補助率2/3のため補助額は222,222円となります。
- ③最終的な補助額
申請可能な補助額の合計は、722,222円となります。

補助対象経費

ソフトウェア

パソコン・タブレット、レジ・券売機等の**ハードウェア**

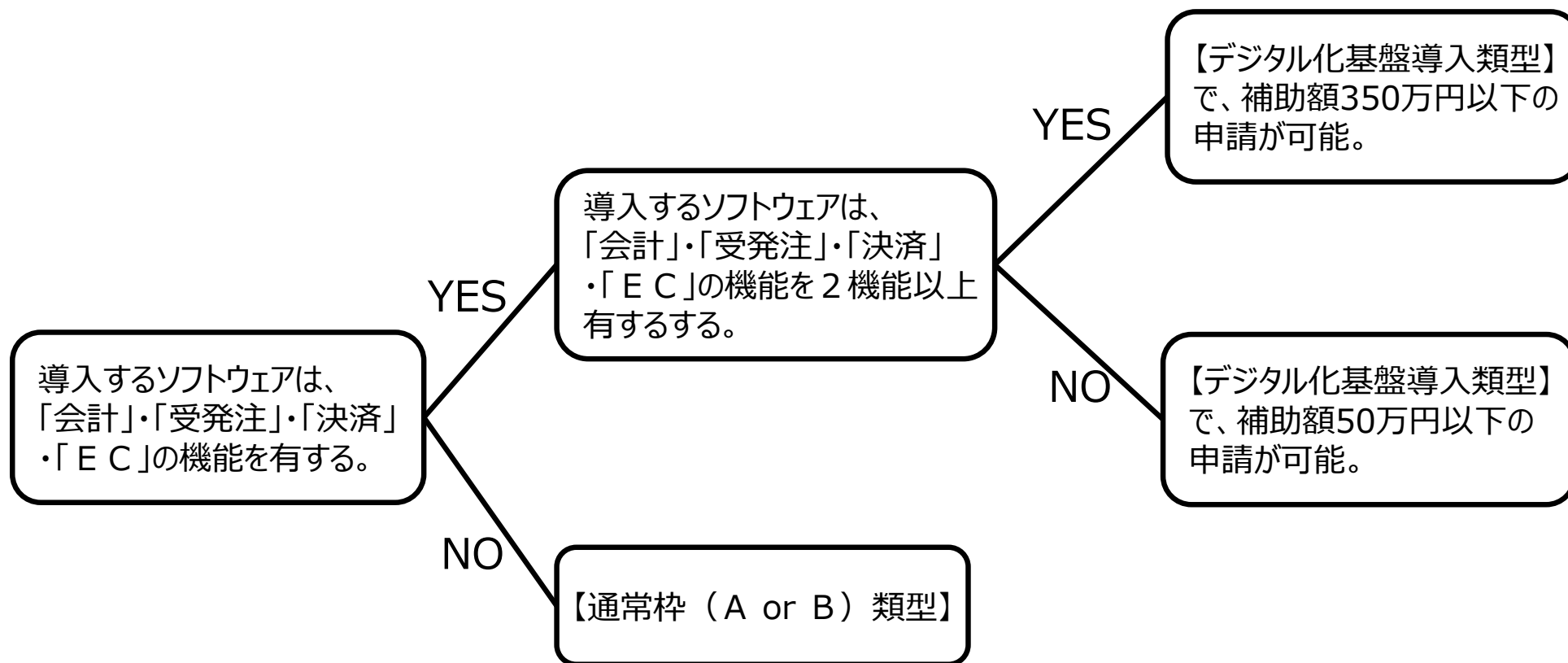
オプション (拡張機能・データ連携ツール・セキュリティ)

役務 (導入コンサル・マニュアル作成、研修・保守 等)

クラウド利用料 **2年分**

1. IT導入補助金2022の概要 【類型別チャート】

- 導入するITツールと補助金申請額から類型と賃上げ目標の要件を確認してください。



※「会計」・「受発注」・「決済」の機能を有するソフトウェアであっても、通常枠（A or B）類型に申請することは可能ですが補助率は1/2となります。

1. IT導入補助金2022の概要 【セキュリティ対策推進枠】

- サイバー攻撃事案の潜在リスクが高まっていることを踏まえ、中小企業等のサイバーセキュリティ対策強化を支援。

補助率
1 / 2

補助額
5万円～100万円未満

補助対象経費
「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の
サービス利用料**最大2年分**

労働生産性伸び率
の設定**必須**
賃上げ目標**加点**

サイバーセキュリティお助け隊サービス

相談窓口、システムの異常の監視、緊急時の対応支援、簡易サービス保険など中小企業のサイバーセキュリティ対策に不可欠な各種サービス内容を要件としてまとめた基準を満たすワンパッケージサービス
(2022年10月時点で18サービス)



(独)情報処理推進機構(IPA)

「サイバーセキュリティお助け隊サービス」HP



手遅れになるまえに、
手を打つ。



サイバーセキュリティ問題、起こる前に考えよう！

見守り

(異常の監視)

24時間365日監視
挙動や問題のある攻撃を
検知しあなたのPCと
ネットワークを守ります。

駆付け

問題が発生したときに、
地域のIT事業者等が
駆付け対応します。
(リモート支援の場合あり)

保険

簡易サイバー保険で、
駆付け支援等インシデント
対応時に突発的に発生する
各種コストが補償されます。

ワンパッケージで安価に！

1. IT導入補助金2022の概要

2. 活用事例

3. 採択状況・公募スケジュール

4. 参考・お問合せ先

2. 活用事例

IT導入補助金2020 活用事例

情報通信業

株式会社ポケットマルシェ

⑤会計・財務・資産・経営

【申請類型】

IT導入補助金2020 特別枠 (C類型-2)

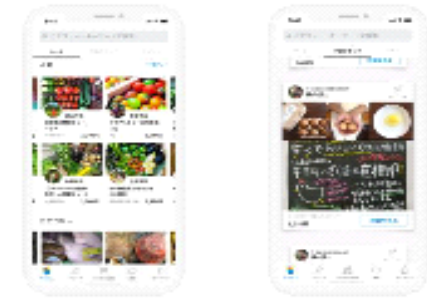
【事業者情報】

所在地 : 岩手県花巻市藤沢町446番地2
 設立 : 2015年 従業員数 : 57名 (8月時点)
 URL : <https://www.pocket-marche.com/>

▶ 生産者と消費者を直接繋ぐ産直ECサイト、「ポケットマルシェ」を運営。人気のフルーツや海鮮など、生産者こだわりの穫れたて食材を直送!



POCKETMARCHÉ



抱えていた経営課題



- バックオフィス業務でIT化による業務改善の余地があった。
- 既存の会計ソフトがクラウド対応しておらず、経理担当者は出社する必要があった。
- 複数人での同時作業やリアルタイムの進捗管理が不可能なため、非効率的であった。
- 仕訳の大半を手入力する必要があり、処理時間と労力がかかっていた。

導入後の変化、効率化された業務

- 人事労務管理ツールと給与情報を連携できるようになった。
- クラウド化により、銀行口座の入出金履歴等が自動的に取り込めるようになった。
- 複数人によるシステム利用が可能になり、業務の透明性が向上した。

導入したITツール

クラウド会計ソフト「freee会計」
 エンタープライズプラン

<https://www.freee.co.jp/houjin/>

中小企業の経理業務を効率化。帳簿や決算書作成・請求業務に対応。リアルタイムに数字を把握できる。

IT導入支援事業者：freeeコンソーシアム

成果

定型の経理業務に係る
 処理時間が3割削減!



- 削減できた時間を活用して、税務・会計上の課題を検討する時間を確保。経理データの精度が格段に向上。
- 売上分析など戦略的な業務に工数が割けるようになった。
- 経理担当者のテレワークが実現。
 *他の補助金を活用し、社用携帯を導入

2. 活用事例

IT導入補助金2021 活用事例

情報通信業

株式会社 ケイ・システム

① 顧客対応・販売支援

【申請類型】

IT導入補助金2021 通常枠（A類型）

【事業者情報】

住所：神奈川県大和市下鶴間2丁目12番33-707号

設立：2015年 従業員数：3名 売上高：約27百万円

URL：<http://ksystem.kanagawa.jp/>

・廃棄物の「見える化」と廃棄物データ活用を通じたSDGs経営の普及促進を目指しています。志と情熱を持って仕事に取り組み、いつまでも夢を追い続け、挑戦し続ける企業でありたいと思っています。



抱えていた経営課題



- SDGs経営向けのシステム開発・販売を手掛ける一方、廃棄物を収集する受託業務も手掛けるようになり、
 - ・煩雑で効率が低いこと
 - ・ペーパーレス化できていないことが課題でした。
- システムがオンプレミス型に加え、紙ベースの管理のためテレワークができない状況で事業継続の面でも喫緊の課題になっていました。

運転日報管理のクラウド導入で業務を飛躍的に効率化した。

- IT支援業者は従来からお取引のある会社で、入力画面の操作性や機能が業務にマッチしていたこと、そして環境系のクラウドシステム開発に特化しているという点も決め手となり、自社開発ではなく導入することを決めました。
- 当社のオペレーションに合わせて設定したり、マスターデータを事前登録する作業は2カ月ほどかかりとても大変でしたが、その後実際に移行する際にはとてもスムーズにスタートすることができました。

導入したITツール

『ルート配車システム』

<https://waste-cloud.com/>

IT導入支援事業者

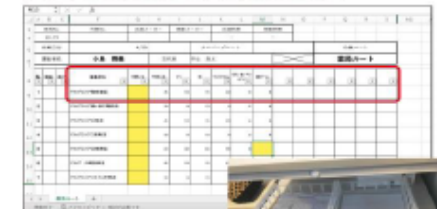
ウエスト・クラウド・ジャパン 株式会社

成果

作業時間は9時間から1/3に圧縮
ペーパーレス化にも成功！

After

1行で13種類のゴミを登録可能に！



紙の使用量が1/2に！



- 1画面に1種類の廃棄物登録を12種類の廃棄物の収集量を登録できるようになり、飛躍的に作業効率上がり、ペーパーレス化も実現。
- 効率化によって生まれた時間を他の作業に費やせる好循環が生まれ、今期売上1.7倍を実現。

2. 活用事例

学習業

- ・バレイ教室と学習塾を併設。予約管理や生徒の出欠をITツールで管理。
- ・業務効率化により、授業やレッスン内容の充実化や保護者との連絡が円滑化する等、サービス向上に寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理・業務管理



建設業

- ・3次元パース（画像）での施主へのわかりやすい提案や顧客情報管理によるサービスの向上を実現。
- ・企画設計についても、これまでの業務比10%以上の効率化を図ることが可能に。

導入したITツール

- ・主な機能：販売・店頭、顧客管理、



製造業

- ・2日要していた給与計算と管理帳票の作成が数時間程度の作業となり、大幅な業務効率化。
- ・残業時間の即時把握が可能となり、残業時間削減の意識向上に寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、人事シフト、原価管理・業務管理、給与



ソフトウェア

- ・クラウドで即時に業績を可能に。月次の経営管理資料作成日数を5日間削減。
- ・各種精算データを会計システムに入力する作業が2時間から0に。今後社員が増加しても作業量は増加しない見込み。

導入したITツール

- ・主な機能：受発注、原価管理・業務管理、財務・会計管理

清掃業

- ・売上計上漏れの防止や請求回収漏れの防止、事務と営業の情報共有の円滑化による作業時間の短縮を実現。
- ・事業計画作成を通じ、経営課題発見。生産性向上に係る社員の意識改革に寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：顧客管理、受発注、原価管理・業務管理



土業

- ・顧客情報の一元管理、システム間の円滑なデータ連携により、データの入力関連の業務が効率化。
- ・税務届出書類の確認、作成、提出が電子化され、業務効率化を実現。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、販売・店頭、決済顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



飲食業

- ・原価率の見える化を通じて、仕入れ価格の削減に努める等、経営の体質改善を実現。
- ・Excelで管理していた給与計算を効率化（手書きで半日→1時間）

導入したITツール

- ・主な機能：決済、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理、給与

宿泊業

- ・手書きの予約台帳をスタッフ全員に配っていたが、予約、会計管理、顧客情報等の情報をタブレットでスタッフ間において共有するITツールを導入。
- ・導入後3年間で売上35%増を実現。

導入したITツール

- ・主な機能：予約、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



医療業

- ・予約、顧客/財務管理の一括管理、自動入力による効率化を実現（1患者当たり1分削減）。
- ・入力ミス解消により、訂正に係る作業時間を削減（1件10分程度）。

導入したITツール

- ・主な機能：予約、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理

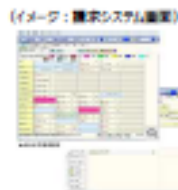


介護業

- ・転記等の2重作業が解消し、請求業務に係る時間が1割に。
- ・作業時間短縮により、新規事業へ注力する余裕が生じるとともに、顧客訪問前の職員とヘルパーとの情報共有も充実。

導入したITツール

- ・主な機能：顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



保育業

- ・帳票の作成、確認時間短縮（園長60分/月、保育士1名130分/月の削減）
- ・登降園、出退勤の集計作業時間の短縮（園長120分/月、保育士1名75分の削減）

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理・業務管理



小売・卸

- ・HPのデザインや機能を抜本的に改善。これにより、新規顧客の来店が増加。
- ・最盛期である7月、8月の売上が前年比1.5倍、WEBでの検索ヒット数が3倍程度となるなど、生産性向上を実現。

導入したITツール

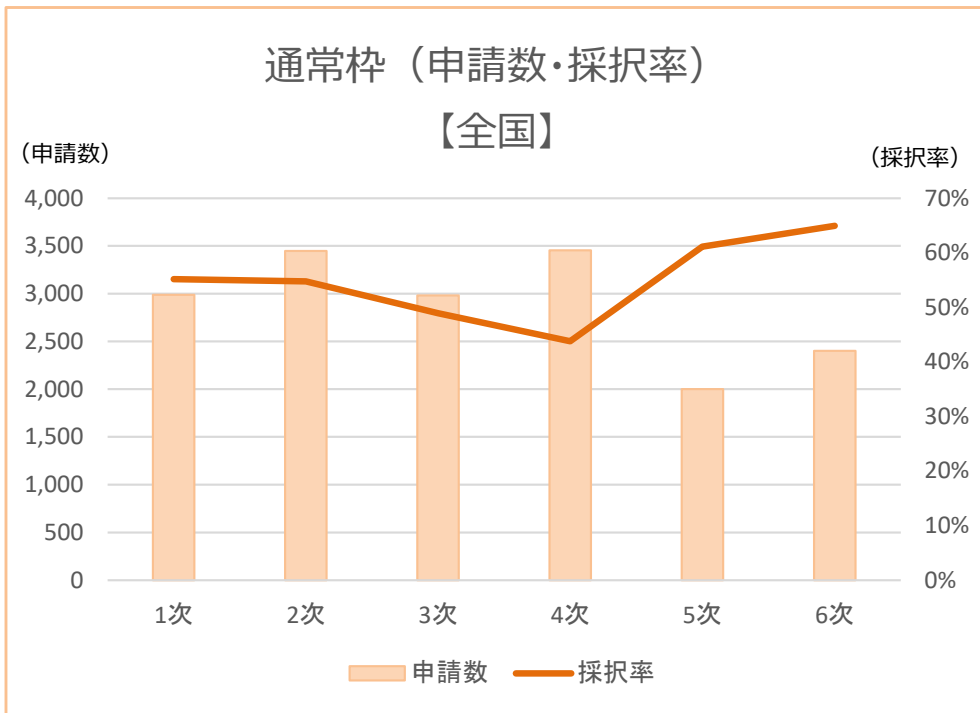
- ・主な機能：WEBサイトへの集客



1. IT導入補助金2022の概要
2. 活用事例
- 3. 採択状況・公募スケジュール**
4. 参考・お問合せ先

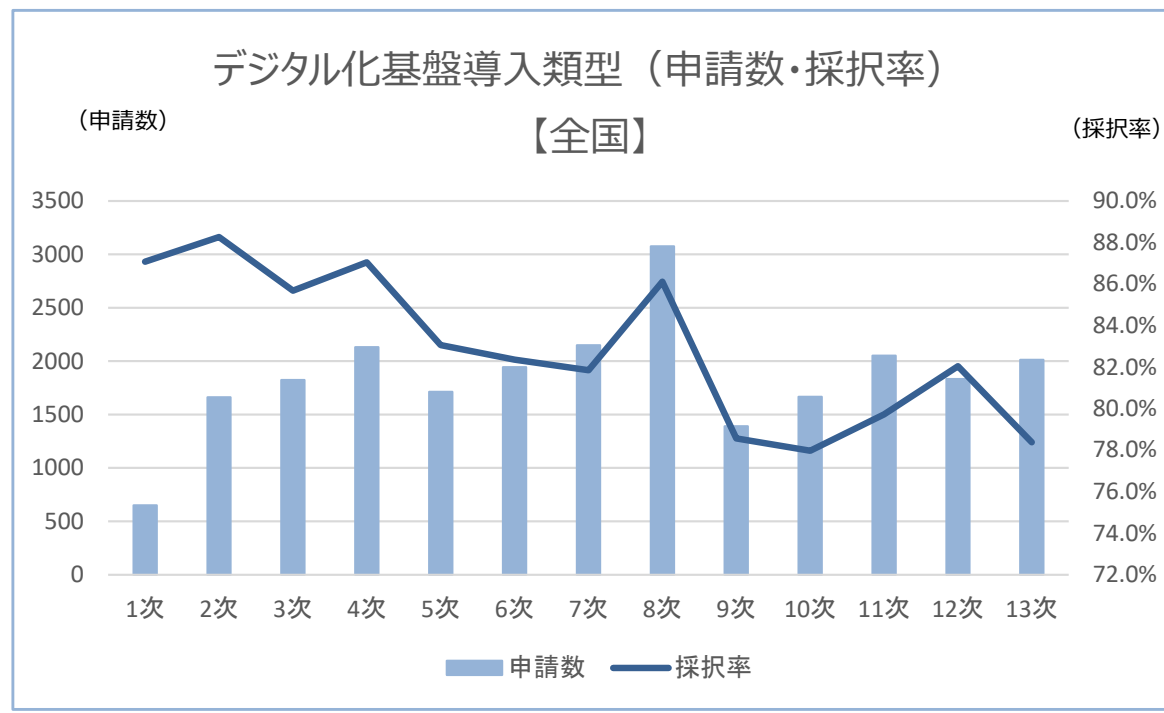
3. 採択状況・公募スケジュール

通常枠（A・B類型）



平均採択率（全国） **約54%**

デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）



平均採択率（全国） **約83%**

セキュリティ対策枠

締切り	申請数	採択数	採択率
1次	13	13	100%
2次	20	19	95%

デジタル化基盤導入枠（複数社導入類型）

締切り	申請数	採択数	採択率
1次	1	1	100%
2次	3	1	33%

3. 採択状況・公募スケジュール

● 補助金申請スケジュール

通常枠（A・B類型）

第7次締切り	10月31日（月）17:00
第8次締切り	11月28日（月）17:00
第9次締切り	12月22日（木）17:00

デジタル化基盤導入枠 （デジタル化基盤導入類型）

第16次締切り	11月28日（月）17:00
第17次締切り	12月22日（木）17:00
第18次締切り	令和5年1月19日（木）17:00

セキュリティ対策推進枠

第4次締切り	11月28日（月）17:00
第5次締切り	12月22日（木）17:00
第6次締切り	令和5年1月19日（木）17:00
第7次締切り	令和5年2月16日（木）17:00

デジタル化基盤導入枠（複数社導入類型）

第3次締切り	10月31日（月）17:00
第4次締切り	11月30日（水）17:00

IT導入補助金コールセンター

 **0570-666-424**
（通話料がかかります）

IP電話等からの
お問い合わせ先 **042-303-9749**

IT導入補助金ホームページ
<https://www.it-hojo.jp>



1. IT導入補助金2022の概要
2. 活用事例
3. 採択状況・公募スケジュール
4. **参考・お問合せ先**

4. 参考・お問合せ先

- 本説明に関するお問い合わせ先

四国経済産業局 製造産業情報政策課

電話 **087-811-8520**

メール sik-info@meti.go.jp

- I T 導入補助金事務局のお問い合わせ先

電話【ナビダイヤル】**0570-666-424**

【I P 電話等からのお問合せ先】042-303-9749

【ポータルサイト】 <https://www.it-hojo.jp>

【よくある質問】 <https://www.it-hojo.jp/faq/>

- 公募要領（令和4年10月7日更新）

【通常枠（A or B）】

https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines.pdf

【デジタル化基盤導入枠】

https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines_digitalwaku.pdf

【セキュリティ対策推進枠】

https://www.it-hojo.jp/r03/doc/pdf/r3_application_guidelines_security.pdf

4. 参考・お問合せ先

- 生産性向上に取り組む中小企業等がデジタル関連のハード・ソフトウェア導入に活用できる補助金やデジタル化・サイバーセキュリティに関する支援サイト・相談窓口を紹介。

デジタル化等に関する各種支援サイト

① IT戦略ナビ/ (企業向け、ウェブサイト)

- Web上で質問に回答していくと、「どのようにITを活用しビジネスを成功させるか」というストーリーをまとめた「IT戦略マップ・導入プラン」が作成され、自社の課題等が見える化できる。
- 課題解決に役立つ「ITソリューションツール」も確認できる。
- 出典：中小企業基盤整備機構 <https://it-map.smrj.go.jp/>

② ここからアプリ/ (中小・小規模事業者・支援機関向け、ウェブサイト)

- 「使いやすい」、「導入しやすい」と思われる業務用アプリを紹介している。
- アプリ掲載に加え、実際のITツールを導入した事業者の事例や、支援機関が活用できるIT支援力アップミニ講座なども配信。
- 出典：中小企業基盤整備機構 <https://ittools.smrj.go.jp/>

③ E-SODAN/ (中小企業向け、ウェブサイト)

- 経営に関するお悩みに対し、専門家が監修する回答集のなかから、AIによる回答や関連する情報等を提示。
- 専門家と直接チャットで経営に関する相談もできる。
- 出典：中小企業基盤整備機構 <https://bizsapo.smrj.go.jp/>

④ IT経営簡易診断/ (中小企業等向け)

- 専門家との3回の面談を通して経営課題・業務課題を全体最適の視点から整理・見える化し、IT活用可能性を無料で提案。
- 出典：中小企業基盤整備機構 <https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/diagnosis/index.html>

⑤ SECURITY ACTION/ (IT活用入事業者向け)

- 情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度。
- 自己宣言はIT導入補助金やものづくり補助金の申請要件。
- 出典：情報処理推進機構 <https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

⑥ 情報セキュリティ安心相談窓口/

- (国民向け、電話：03-5978-7509、メール：anshin@ipa.go.jp)
- 一般的な情報セキュリティ(ウイルスや不正アクセス)に関する技術的な相談に対してアドバイスを提供する窓口。
- 被害に遭った際だけでなく普段のパソコン操作にも役立つ資料をご紹介。
- 出典：情報処理推進機構 <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/>

設備投資、開発予算の補助金

① ものづくり補助金

- (企業向け、事業期間最大約1年、設備投資)
- 革新的製品・サービスの開発又は生産プロセス等の改善に必要な設備投資等を支援
補助金額750万円～3,000万円、補助率1/2～2/3
- 【一般型】
 - ・通常枠
 - ・回復型賃上げ・雇用拡大枠、デジタル枠
 - ・グリーン枠
- 【グローバル展開型】
- 出典：ものづくり補助金事務局サポートセンター <https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

② 事業再構築補助金

- (中小・中堅企業・個人事業主・組合等向け、事業期間最大14ヵ月、設備投資)
- 新分野展開、事業・業種転換等の取組、事業再編等を旨とする企業等の設備投資を支援
【通常枠】、【大規模賃金引上げ枠】、【回復・再生応援枠】、【最低賃金枠】、【グリーン成長枠】、【緊急対策枠】
- 出典：事業再構築補助金事務局 <https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

③ 小規模事業者持続化補助金

- (小規模事業者等向け、事業期間約半年、設備投資)
- 経営計画を自ら策定し、商工会、商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等の取り組みを支援
補助金額50万円～200万円、補助率2/3
- 【賃金引上げ枠】、【卒業枠】、【後継者支援枠】、【創業枠】、【インボイス枠】
- 出典：全国商工会連合会 https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/

④ 事業承継・引継ぎ補助金

- (中小企業・小規模事業者向け、設備投資、廃業支援費等)
- 事業承継やM&Aを契機とした経営革新等への挑戦や、M&Aによる経営資源の引継ぎ、廃業・再チャレンジを実施
補助上限最大600万円、補助率1/2～2/3
- 【経営革新事業】、【専門家活用事業】、【廃業・再チャレンジ事業】
- 出典：事業承継・引継ぎ補助金事務局 <https://jsh.go.jp/r3h/materials/>

詳細は各HPページ等よりご確認ください。

ご静聴ありがとうございました。

**四国経済産業局
製造産業・情報政策課**

0 8 7 – 8 1 1 – 8 5 2 0

<https://www.shikoku.meti.go.jp/>